

透き通って冴える味

八水蒲鉾株式会社



ホーム

八水蒲鉾について

八水のこだわり

八水の商品

商品のご購入

原材料について



四国最大の中間トロール船の基地 練り製品の一般的な製造方法を
です。八水蒲鉾の主原料である魚 ご紹介しています。
を取ってくる魚獲船をご紹介します。

製品ができるまで



よくある質問



よく頂く質問をまとめました。

学校関係者の皆様へ



これらのコンテンツを家庭や授
業の教材として活用しません
か？

八水蒲鉾の本社ある八幡浜市は四国の西の玄関口と言われ、また、四国最大の中間トロール船の基地です。八水蒲鉾の主原料である魚を取ってくる魚獲船をご紹介します。

網

旋網(まきあみ)に属する網、揚繰(あぐり)を改良したもので、網裾に多くの鉄製の環を付け、その環に一本の網ワイヤロープを通し、網を船で円形に張り、その網の底を引き締めると巾着の口をくくったようになって、魚の逃げるのを防ぎ、イワシ・サバ・カツオ・マグロ・タチウオその他いろいろの回遊魚を捕獲するのに用います。当地方では、通称"まきあみ"と呼んでいます。

船

現在八幡浜市場に所属するまきあみ船団は5船団、1船団は本船1隻、灯船(ひぶね)3隻、運搬船1隻で構成されています。夕方出航し蒲鉾の原料はもちろん日々の食材料をとるために雨・嵐について出漁し危険をおかしてこのような過程をへて市場に戻ってきます。



四国一の地方卸売り市場である魚市場は、
今日も「てやてや」のセリ声で賑わう。



今日も宇和海・豊後水道の漁場へと向かう。
天気の良い日はいいがシケの日は大変だ。



大漁を祈って今日も網を入れていく長さ
2kmになろうかという網だ。



直径300mにもなるかという網だ。これ
から大漁を祈って網をしぼりこんでいく。



大漁を折りつつ網を揚げていく引く手にも
思わず力が入る



今日も網を揚げる魚群探知機で判っている
ものの揚げてみるまでは心配だ。



船倉より魚を降ろしていく。大漁だった、明日も明後日も大漁だといいな・・・



魚を市場に降ろしていく大漁だったので力がある。



魚を魚種別にすばやく選別し氷をはっていき気がぬけない作業だ。



水揚げされた魚をセリ人の「てやてや」の声とともにセリが始まる。ここから全国へ出荷されていく。

[法律に基づく表示](#)

[お問い合わせ](#)

[ご注文一覧](#)

[メールマガジンの購読](#)

[ホーム](#)